

学校教育目標	校訓「夢ひとすじに」 ○学び ○磨き ○鍛え ○羽ばたけ
目指す学校像	歴史と伝統を継承し、生徒一人ひとりが「夢と希望」「自信と誇り」をもてる教育を推進する学校
重点目標	1 「わかる」「できる」を実感できる授業を行うため、ICTを効果的に活用した授業の改善 2 いじめをなくす人権意識の育成と一人ひとりのよさを見出し認め、伸ばす指導の推進 3 地域、保護者から信頼される学校づくりの推進 4 施設・設備の点検、修繕による安心、安全な生活、学習環境の確保 5 キャリア段階に応じた教職員の資質向上と教職員事故を未然に防ぐ取組の実践

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心をサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校自己評価					学校運営協議会による評価		
年度目標					年度評価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査では、国語、数学ともに、ほぼ市の平均と同じ。 ○ICTを効果的に活用した学習については、意欲的に取り組む生徒が多く、授業では自信をもって発表できる生徒が多い。 ○運動や合唱に、熱意をもって取り組むことができる。(課題) ○全国学力学習状況調査の結果より、国語の「言語の特徴や使い方に関する事項」に改善の余地がある。 ○生徒アンケートの結果より、家庭学習の習慣に課題がある。	・「わかる」「できる」を実感できる授業実践による学力向上 ・生成AIを効果的に活用した授業の改善	①学習内容への関心意欲向上を図るため、取り組む課題や課題の取りまかせ方を工夫改善する。 ②学習内容を振り返るとともに、繰り返し学習する機会を設定する。 ③自分の考えを説明する活動を重視し、生徒同士が学び合う機会を設定する。 ④合唱やものづくり等の体験活動を通して豊かな情操を育成する。	①学びの指標アンケート評価の維持向上 R6 主体的な学び R6_3.29→R7_3.30 探求的な学び R6_3.26→R7_3.27 ②振り返りの時間、繰り返し学習する機会を設定できたか。 ③考えを説明する活動が設定できたか。 ④校歌を大切にし、誇りをもって歌うことができる生徒を育成できたか。			
2	(現状) ○R7年度いじめ事案解消率が69.2% (9/13件)であった。 ○R6年度欠席30日以上の生徒の割合は8.6%であった。(課題) ○いじめを見逃さず、速やかに対応する。 ○困り感のある生徒を支援し、丁寧な対応、見届けにより問題を解決に導く。 ○個に応じた居場所づくりを推進し、登校するよさを味わわせる。	・いじめをなくす人権意識の育成 ・一人ひとりのよさを見出し、認め、伸ばす指導の推進	①週1回生徒指導委員会でいじめ事案の認知、経過、解消を確認する。 ②スマホ利活用のモラルや人権意識向上、いじめ根絶に係る講演の実施。 ③いじめについて考える学級討議の実施。	①いじめ事案解消率が改善できたか。 R6(13/17 76.4%)→R7(9/13 69.2%) ②スマホ利活用のモラルや人権、いじめ根絶をテーマとした講演会が実施できたか。 ③いじめについて考える学級討議ができたか。			
3	(現状) ○学校だより発行やホームページ更新により、教育活動を保護者や地域に発信している。 ○コミュニティ・スクールの目標を「地域に愛される子どもの育成」とし、それぞれの立場から学校教育に貢献できることに取り組んでいる。 ○コミュニティ・スクールの一環として、「みやはらまつり」での中学生神輿渡御、レッツ・ジョイン・クリーン活動等を実施している。(課題) ○連絡用アプリを活用して、学校だよりや通知を保護者へ直接送付すること。 ○学校運営協議会に生徒を参加させ、生徒の活用や学習の現状について熟識すること。	・教育活動内容等を周知する機会の充実 ・それぞれの立場や役割で協働する学校の教育活動の推進(コミュニティ・スクールの推進)	①月1回の学校だより発行。週1回学校の教育活動を知らせるホームページの更新。 ②オクレンジャー(連絡用アプリ)を活用した通知の電子化。 ③学期に1回以上の学校公開日を設定。	①学校だより月1回発行、ホームページの更新週1回ができたか。 ②オクレンジャー(連絡用アプリ)を活用して通知の電子化が推進できたか。 ③学期に1回以上の学校公開が実施できたか。			
4	(現状) ○施設が老朽化しているが、子どもの教育活動に支障のある箇所を優先して、修理、修繕を行っている。 ○タブレットを活用した授業を充実するため、速やかに故障代替機を配付している。(課題) ○エアコンの故障対応。 ○教室のドア、トイレの様式化、植栽の剪定、給食室機器の修理、不要備品の適切な廃棄を、優先順位を決めて行うこと。 ○熱中症、感染症等に対する対応を適切に行うこと。	・安心、安全な生活、学習環境の整備 ・ICT機器の整備、補充による教育環境整備の推進	①月1回の安全点検により、修繕箇所を把握し、予算等を考慮し、優先順位を決めて対応する。 ②生徒の学校生活の安全、教職員の職務上の安全を確保するため、教育委員会と協働して施設整備にあたる。 ③熱中症、感染症の予防し、生徒の健康に配慮した学習環境を整備する。	①予算の範囲内で、学校修繕に取り組めたか。 ②教育委員会と協働して修繕に取り組めたか。 ③熱中症、感染症の予防策を講じ、生徒の校内罹患等を押さえることができたか。			
5	(現状) ○生徒指導、教育相談、保護者対応について、理解を深め、適切な実践力を身につけることが必要とされる。 ○教科指導と評価の関連について理解を深め、質の高い指導が実践できることが求められる。(課題) ○体験的な活動を通して、生徒の学ぶ意欲の向上を図る。 ○生成AIを活用した授業について研究し、その実践力を培う。 ○教職員事故を防止する。	・キャリア段階に応じた教職員の資質向上 ・教職員事故を未然に防ぐ取組の実践	①教職員の年次研修、各種研修への参加を奨励する。 ②校務に必要な知識、技能を習得するため、講師招聘や、校内職員を指導者とした研修を実施する。	①ブランドを活用した研修受講が、推進できたか。 ②教職員の日々の校務に関わるニーズに応じた研修が実施できたか。			

学校運営協議会による評価
 実施日令和8年2月20日
 学校運営協議会からの意見・要望・評価等